



## 佐渡の歴史と伝統をつなぐ！小学生が歴史ある能舞台で「能」を披露します

両津吉井小学校5・6年生は、総合的な学習の時間で「ふるさと学」の一環として「能」を学んでいます。その中で、宝生流師範の齋藤美千枝先生を講師にお迎えして、演目「羽衣」「猩々」「鶴亀」の舞や謡の練習をしてきました。その成果を「潟端諏訪神社能舞台発表」にて披露します。

本発表会は、佐渡に息づく伝統文化に実際に触れ、その深い歴史や美しさに親しむことを通して、ふるさとへの誇りと愛着を育む機会とするものです。子どもたちが歴史ある実際の能舞台に立ち、これまでの練習の成果を発揮して謡や舞を披露する姿は、地域に根付く文化を継承し、表現することの素晴らしさを学ぶ貴重な機会となります。

つきましては、概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

1. 日 時 令和8年9月 28 日(月) 9:45～（おおよそ 30 分程度）
2. 会 場 佐渡諏訪神社 能舞台（佐渡市潟端 863）
3. 内 容 両津吉井小学校5・6年児童による能の演目 「羽衣」「猩々」「鶴亀」  
講師：宝生流師範 齋藤美千枝先生
4. 参加者 両津吉井小学校 5・6年生児童 19 名
5. 取材について 取材をご希望の方は、事前に担当までご連絡をお願いいたします。



本件についての問い合わせ先  
佐渡市立両津吉井小学校  
担当：教頭 斎藤  
電話：0259-27-2702

